

# COOP-JOSO News Letter

2020年12月2回号 発行: 常総生協広報G



2020年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・うちごはん ～食卓から笑顔あふれる未来へ～」

## 東海第二原発（東海村）の再稼働阻止に向け、 原発にかかわる市民運動の結集を目指す新たな枠組み 「いばらき未来会議」

原発NO!で明るい未来

### いばらき未来会議 設立趣意書

世界ではいま、再生可能エネルギーへの大胆なエネルギー転換への流れが加速しています。福島第一原発事故を起こした日本は、この事故から真摯に教訓を汲み取り、原発のない平和で明るい未来を拓き、安全な社会を目指していかねばなりません。

ところが茨城県では、東海第二原発が再稼働されようとしています。

私たちは、原発は廃止すべきと考えます。そこで、原発再稼働問題に関する情報を多くの市民に提供し、互いに学び活動する場づくりを決意しました。

再稼働に反対する諸団体と連携・協力し、反対運動を盛り上げていきます。

私たちは、政治家に対して原発廃止に向けたさまざまな働きかけをしていきます。県知事や県内外の政治家に面会を求め、私たちの考えを訴え、さらに、国会で議論を起こすよう関係の国会議員へ働きかけます。

県知事選挙をはじめとする自治体選挙や国政選挙へも取り組み、県民、国民の立場に立ち、原発廃止に真摯に取り組む自治体首長や国会議員の実現を目指した活動を行います。

原発の廃止は、エネルギー政策に留まらず、私たち市民のこれまでのライフスタイルを問う問題でもあります。原発廃止を確かな流れにするために、これらの問題の検討や活動にも取り組んでいきます。

多くの市民が私たちの活動に参加することを呼びかけます。

### 主催：いばらき未来会議

共同代表 乾 康代 ・ 曾我 日出夫

事務所 300-4104 土浦市沢辺792ともいき舎

#### 参照ブログ

須和間の夕日(乾 康代) <https://musashi-mutsuko.amebaownd.com>  
福島応援プロジェクト茨城 <https://blog.goo.ne.jp/oueniba>

**「いばらき未来会議」の事務局をされている常総生協組合員さんからの呼びかけです。**

私たちは、いばらき未来会議を発足させ、11月15日晴れ渡った日曜日に、水戸市ザ・ヒトリ・シティ会館で発足記念講演会を開催しました。

ご参加下さいました皆様、ありがとうございました。

元原子力規制庁技術参与松田 文夫さんから「20mSvの法律的問題とICRP勧告について」と言う演題で1時間にわたってお話を伺い、その後質疑応答をした後、今後の活動についても話し合いました。

コロナの問題があるため、ご参加を断らざるを得なかった方が多かったため、当日の配布資料をアップしようという簡便なホームページを立ち上げました。

[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/imirai](https://peraichi.com/landing_pages/view/imirai)



ユーブランの三輪さんが撮影に来てくださって、早速

YouTubeにアップしていただきましたので <https://youtu.be/Au4f01MDMwY>

皆様ご視聴ください。

ご希望の方にDVDを頒布いたします。500円及び送料。

告発・原子力規制委員会一被ばくの実験台にされる子どもたち講演会講師、松田文夫さん（画像→）についてのご紹介です。

松田さんは1948年に東京都豊島区で生まれ、71年東京大学工学部卒業。鉄鋼メーカー、旧原子力安全・保安院を経て、原子力規制庁技術参与。核燃料物質の輸送に関する安全審査などに携わった方です。

2018年2月に「内部告発てんまつ記：原子力規制庁の場合」を出版され、2020年3月 雇い止めに遭って退職後、5月に「告発・原子力規制委員会一被ばくの実験台にされる子どもたち」を出版されました。

講演はこの近著に基づくもので、福島の人々が、放射線被曝の限度として20ミリシーベルトが押し付けられている事態に対して、理論的根拠が明確ではなく、また、この値が規定されている法律はないことを明らかにし告発するために著されました。本書のタイトルが「被曝の実験台にされる子どもたち」とあるように、守られるべき子どもたちが、守られていないこの国に対しての憤りを、深く静かに表明しておられるのです。



話のまとめとして「低線量被ばくの問題点の継続的な調査研究は重要」と述べられ、質疑応答で甲状腺がんの多発問題について聞かれると、「甲状腺がんの原因が放射線であることは、世界の常識です」ときっぱり述べられました。物静かで優しい口ぶりながら、原子力規制庁の内部にいて、次々告発書を出された芯の強さには驚きと敬意以外に感じることはできません。

18年出版の「内部告発てんまつ記：原子力規制庁の場合」では、規制庁内ではびこる入札の不正にメスを入れ告発をされました。研究職職員を拡充する目的で合併したJNESは、業界の窓際社員の姥捨て山だったとのこと。自分たちで研究を行うのではなく、意味のない研究テーマをでっち上げてそれを下請け設計会社に丸投げし、発注仕様書から報告書までやらせる下請け体質が、入札不正・癒着の温床になっていると暴いたのです。

原子力規制委員会は、約1千人を擁して、予算規模は約600億円の組織であるとのこと{56p}。

本来福島の被災者に賠償として支払われるべき復興予算から、多くの無駄なお金が、むやみに豪華なオフィス代金や研究費として垂れ流されているのです。

今は、退職後の穏やかな生活の中で、母校の小学校の学習支援に通う暮らしをしておられる松田さん。奥深い人間性に驚嘆させられています。

また、多彩な詩人作家たちの名作を1週に1詩として1年分紹介した「一詩一週」(朝日新聞出版)や、大正・昭和期に活動した詩人・英(はなぶさ)美子の作品を紹介し、時代を超えた奔放かつ大胆な生き様に迫る「英(はなぶさ)美子 もっとまだうまきものはないか」の名著もあります。

ぜひ図書館でお読みになってください。

小さな上映会 便り 2020年11月（脱原発とくらし見直し委員会）

コロナ禍の中での巣ごもりは、もう飽きたという方にもお薦めの常総生協DVDライブラリー。多岐に渡る作品群は正に今こそ必見です。事実の重さと、真実に向き合う製作者の真摯さに考えさせられた、開眼させられたという組合員の声をお届けします。これからの日本の在り方に繋がる視点が満載です。

| N<br>O | 題 名                          | 観た組合員さんからの感想文                                                                                                                                                                                                                |
|--------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 23     | よみがえる科学者<br>ー水戸巖と3.11ー       | 東京電力福島第一原発が起きる30年以上前から、原発の危険性を警告していた科学者がいた。東大原子力研究所に所属した経歴を持ちながら「原発を止める他ない」と訴え、住民訴訟を支援する活動を続けた水戸巖。1986年に53歳で亡くなった彼の足跡をたどり、科学とは誰のためにあるのか、原発事故が私たちに問いかけている。「人間の作ったものに絶対安全などない」と思う。水戸巖の話した通り、9割が福島の事故であった。私自身も水戸巖のことに対して無知であった。 |
| 26     | 子供たちを放射能から守るために<br>ー児玉順先生講演会 | 講演の部はよりテーマに沿っているだろう後半30分程が収録されていないようで残念でした。「ベトカウの実験」の、低線量放射線の持続照射で細胞膜が破壊される事実（高線量の間欠照射では起こらない）は初めて知って驚きました。学力やエイズなどの疾病と核実験の相関の指摘は興味深いもので、これらを7年も前に学んでいた組合員の方々と今のところ自分との差を思っ愕然としました。                                          |
| 31     | 原発ゼロでがっちり<br>吉原毅氏講演録         | まず、日本の原子力発電が如何にアメリカの思惑に左右されてきたのかが語られていて驚きました。原爆の製造・投下が『商売』として行われた点は私たちが最も重視すべき観点に関わるのですが、逆に脱原発を市場原理に委ねるヨーロッパ発の手法の可能性も知りたいところ。後半ではそれが十分に語られていて、「光飽和点」メカニズム応用の太陽光発電は世界を変えたと感じました。                                              |
| 34     | 放射能のホントのこと（学習用DVD）           | 中高生向けとして、放射線の概要と被害の現状・問題点について基本として知っておくべき事柄が網羅されています。二十数本観てきて、このDVDでスッキリ理解できたことも多く、このテキストを日常的な学習で掘り下げる必要を感じました。コミュニティ福島のコネクトへの懸念は、先週開館した「伝承館」での東電や国への批判排除の方針でより鮮明なものとなりました。                                                  |
| 42     | 子どもと貧困                       | フィンランドの税金の高さがよくわかりました。弱い立場の人を大事にしないと社会の安定につながらないと実感しました。教育の大切さ、基本ですね。                                                                                                                                                        |
| 47     | 放射能はいらない 市川定夫                | ヨウ素131の半減期が8日と短いことは知っていましたが、植物の中では2百万倍から14万倍に濃縮され、更に「生物学的半減期」が138日であることを知って、改めて内部被ばくを軽減する安定ヨウ素剤の投与の意義と汚染されていない食物を摂ることの大切さがわかりました。人口放射性核種のみが持つ蓄積する性質と遺伝的障害との関係がわかりやすく語られていました。                                                |
| 49     | 放射能症候群Ⅱ                      | 子供たちに口内炎・鼻血・だるさなど様々な症状が出た松戸市の普通の家族。放射能の影響であるとの明確な立証がなく、体調不良にイジメが重なって徐々に日常生活が送りにくくなっていく。普通に安全な生活環境を求めている引越を当事者は淡々と語るが、それは人生の一大事に違いない。原発事故による生活破壊が決して遠い原発周辺地域だけの話ではないことを知った。                                                   |
| 51     | フード・インク                      | 「システムを変えるチャンスが1日に3回ある 世界は変えられる一口ずつ 変革を心から求めよう」ジャック・アタリ『食の歴史』をちょうど読み終え自分にとって「食べる」とは何ぞや？と自問していたタイミングでこの映画を観ることができたのは幸運でした。鑑賞後友人が「大企業なめるな民を命が大事利益より」と。同感です。                                                                     |
| 52     | モンサントの不自然な食べ物                | 感覚をダイレクトに揺さぶられる映画でした。モンサント・遺伝子組み換え、うっすらと知ってはいましたし大問題だと。しかしここまでとは... 無農薬から在来種へ更に進んで未来は 現在の希望の結晶に本当の「知的財産」と輝いてほしい。                                                                                                             |
| 55     | 土の讃歌                         | 土の誕生から変換、土の多様性などの説明があり、各地の異なる土の景観を映し、豊かな土壌がいかに環境を改善し、いのちを育むかがわかった。                                                                                                                                                           |
| 56     | あかとんぼがいらない秋                  | 子供のころたくさんいた赤とんぼがいなくなっている。いなくなった原因究明と原因と言われる農薬の人間への影響があるという実験結果が発表され、農薬の恐ろしさを感じた。                                                                                                                                             |
| 59     | あまくない砂糖の話                    | 2013.3月から2年半、南米のパラグアイに住んだことがありました。現地のスーパーに並んであった3Lのコカ・コーラのペットボトルにびっくりしました。日常の食事のお供がコーラでした。お茶を（マテ茶）を飲む習慣もあるのに、安いコーラに手が伸びるのか、甘いケーキとコーラはバースデーパーティーには付き物でした。DVDを見て初めてアボリジニの方々の砂糖を摂取した（摂りすぎ）その後の様子に驚きました。甘い物好きな私、ほどほどに楽しまなくては...  |
| 75     | ハンナ・アーレント                    | 「本物のアイヒマン」vs「思考するアーレント」圧巻のシーンでした。「悪の凡庸さ」悪の深さと浅さ600万人の命を消した「悪」とは何なのだろうか？考え抜くことで私たちも現代の悪に対峙できるだろうか？何人も服従する権利を持たないというアーレントの言葉は歴史的革命的なメッセージ。勇気百倍！                                                                                |

※DVD貸出申込は注文用紙orホームページ上の[組合員問い合わせフォーム](#)にて、ナンバーとDVD記入してお申込み下さい。



## 配布チラシのお知らせ ※今週配布しています。

～配布依頼のあった組合員さんより～  
 地元での活動「原発いらない牛久の会」では月一回集まって講演会の準備や、駅前での署名活動等、今も活動を続けています。  
 今月は脱原発ネットワーク茨城より、東海第二原発の現状を知り、無理な避難計画をわかりやすく問題点を洗い出したチラシ「知らなかったでは無くよく知る」事が大切です。のチラシを地元の方々にポスティングしています。

チラシはわかりやすく書かれていますので、組合員の方々にも読んでいただきたいと思います紹介させていただきます。



## 2020年度 常総生協 第5回理事会報告

開催日時：2020年10月28日（水）10：00-12：00  
 開催場所：常総生活協同組合 2F組合員活動室（オンライン参加もあり）

### （協議検討事項）

- 【第1号議案】2020年度上半期決算報告の件・・・（可決）
- 【第2号議案】冬季賞与支給方針の件・・・（可決）
- 【第3号議案】常総生協のシンボルマーク（キャラクター・ロゴ）を作ろうプロジェクトの件・・・（可決）

### （報告・相談事項）

- ①10月事業報告
- ②活動報告
- ③その他

## ○【第1号議案】2020年度上半期決算報告の件

### （1）全体損益について

|      | 4月         |         | 5月         |         | 6月         |          | 7月          |         | 8月         |        | 9月         |         | 上半期         |         |
|------|------------|---------|------------|---------|------------|----------|-------------|---------|------------|--------|------------|---------|-------------|---------|
|      | 今年度        | 前年比     | 今年度        | 前年比     | 今年度        | 前年比      | 今年度         | 前年比     | 今年度        | 前年比    | 今年度        | 前年比     | 今年度         | 前年比     |
| 供給高  | 93,517,842 | 120.9%  | 95,378,036 | 121.6%  | 94,869,093 | 133.7%   | 91,456,704  | 114.3%  | 75,996,551 | 119.9% | 79,995,938 | 113.9%  | 531,214,164 | 120.6%  |
| 販管費  | 22,596,370 | 103.3%  | 23,644,658 | 102.3%  | 21,273,463 | 100.2%   | 27,906,977  | 125.2%  | 21,595,431 | 103.6% | 21,961,935 | 101.8%  | 138,978,834 | 106.1%  |
| 事業剰余 | 3,623,079  | -401.1% | 2,347,072  | -164.7% | 4,235,774  | -183.3%  | (3,118,536) | 1410.5% | (548,724)  | 13.7%  | (90,878)   | 3.5%    | 6,447,787   | -56.3%  |
| 経常剰余 | 5,628,030  | 901.7%  | 4,065,798  | 590.6%  | 6,244,799  | -9200.6% | (1,220,712) | -59.6%  | 1,082,719  | -56.8% | 1,905,229  | -220.8% | 17,705,863  | 3389.2% |

### ①供給高状況

- 総供給高 5億3104万円（前年比120.6%、計画比121.8%）、事業剰余+801万円（前年差+1757万円、計画差+2315万円）、経常剰余+1770万円（前年差+1718万円、計画差+2379万円）となっており、増収・増益となりました。
- 宅配ニーズが新常态となっていると考えられます。
- 緩やかに供給高伸び率が下降してきている状況です。

### ②事業経費について

- 新たな取り組みとしてトラックの朝積みをアウトソーシング（委託）しています。現場でも変化に対する対応力が問われていますが、供給担当者の負担も減りつつあります。
- コロナ過により、出張、組合員活動も実施できていない状況で、経費支出が少ない状況ですが、その分コロナ対応（マスク、消毒、マテハン購入など）、熱中症対策費用など、今までに予定していない経費が支出している状況です。
- マテハン（通い箱、フタ、オリコン、通い袋）に関しては再度購入の必要があり、下期に計上される予定です。

### （2）年度見通しの特徴

- 11月以降、計画通りならば供給高9億9千万円（前年比109.6%）、事業剰余△925万円、経常剰余1031万円を見込んでいます。

## ○【第3号議案】常総生協のシンボルマーク（キャラクター・ロゴ）を作ろうプロジェクトの件

常総生協のシンボルマーク（ロゴ・キャラクター）づくりについて、組合員が参加しやすい形式で再検討し、実行していく事に合意を頂きました。

今後、常任理事会、理事会の議論の上、プロジェクトをスタートしていきます。組合員さんの参加をよろしくお願い致します。